

「ツアーに参加してから産地を気にするようになりました」

「富山コシヒカリ」の産地・富山県小矢部市に組合員さんが訪れ、5月に田植え体験をした地域で稲刈りを体験しました。



産直産地ツアー 稲刈り収穫体験

富山県
JAいなば
9月23日～24日
37名参加



富山コシヒカリ 新米



※お正月準備号にお得な「5kg×2」の企画があります



いねかりのとき、かたいところもあったけど、かるときは、ザクザクというかんじにかれたのです。きりしました。いもほりのときに、なぜかしらないけれどべにあずまの方が色もきれいで大きかったです。たくさんとれたのでうれしかったです。(阿倍野区 高尾さん 11歳)

今回は田植えと稲刈り、両方体験出来て良かったです。子どもがこのツアーに参加して家で食べているお米の産地を気にする様になりました。生協でJAいなばさんのお米を見ると田植えした事と稲刈りした事、富山の景色、生産者の方を思い出すので交流会はとてもステキな事と感じています。(生野区 本田さん)



初めてJAいなばさんの稲刈り体験ツアーに参加させて頂きました。息子には、田舎がなく、お米もスーパーに売っているのがお米と思っていて、本場の稲刈りを体験させてたくて、参加しました。かまを持ち、ザクザクと切れる音が楽しかったようで、必死に稲刈りをしていました。都会ではなかなかできない経験ができ、コンバインにも乗せてもらい嬉しかったです。10月の枚方公園店のおもちつきに行きたいと思います。(枚方市 中田さん)

遠野通信

NO.94 被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災地は7度目の冬を迎えようとしています。関西3生協共同の復興応援バスは11月の「民泊コース」で終了となりましたが、はるタイムの紙面をいただき被災地の団体紹介をさせていただきます。

その一つが白砂青松100選に選ばれた岩手県陸前高田市で松原を復活させようと頑張っておられる「NPO高田松原を守る会」です。震災前、県内で最も賑わう海水浴場でその砂浜には松原(全長約2km、約7万本)がありました。その場所の内側によりやく防潮堤が完成し、防潮堤と海岸の間に土を入れ、5月から松の植樹が始まりました。私たち応援バスメンバーも今年度3回に渡り、松の苗木を守る防風柵づくり(目標1万本で、現在4千本完成)に参加。50年とも100年とも言われる松原復活なので、地元の方々も世代継承されるでしょうし、このとりくみに参加された組合員さんからも「帰阪後すぐに娘に報告し、孫には50年後の松原を見にいってもらおうように頼みました…」という感想を寄せてもらいました。津波到達点に桜の植樹を続けている「NPO桜ライン311」のとりくみとともに、「時間を要するほど未来へつなぐ力になる」と思っています。

大阪でこれからも応援できるとりくみを12月9日の報告会(下記)で組合員さんと考えていきたいです。なお、上記の松原再生のとりくみで、ボランティアの受け入れをいただいている地元団体が今号表紙の「NPOパクト」さんです。

(岩手県遠野市に常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)



ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2017年3月21日～2017年10月20日)
20,628,596円 (この金額には2016年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含まれます。10月31日に「陸前高田花火大会実行委員会」への協賛金として100万円寄贈しました)

番号がかわっています ※OCR注文書では11月2回から、注文番号を「1420」に変えて受付を続けます

2017年度 第2回 東北スタディ(民泊)研修

8月25日～29日 17名参加

実際に、広田町で民泊させていたでいて、私と同じ世代の県外の若い応援者の方々の姿にとても刺激を受けました。お世話になったお宅の佐々木さんとその応援者の方々の生活がとても密接に関わっていて、若い人のまちづくりへの姿勢の影響の大きさを目の前で感じる事ができました。佐々木さんは、「言い方は悪いかもしれないけど、津波があったからこそこの若い人達に出会えてまちづくりができてきているし、民泊にも来てもらっている。歯を食いしばって頑張っているんじゃないかと、新しい出会いを楽しみながらやっている」と言っていました。人との出会いやつながりがこれほど人を元気にさせて、生き生きさせているのだと気づき、素晴らしいと感じました。また広田町に行きたいなと思います。これらの広田町が楽しみです。たくさんの方を見て聞いて知り、たくさんの方に気づき、有意義な東北スタディ研修でした。



民泊先の各お宅でウニの解体作業やワカメの袋詰めなどお手伝い

パル子のお店新発見

おおさかパルコープには9つのお店があります。今回は毎年恒例、JAいなばさんの販売交流会のようすをご紹介します。

今年も、新米が並ぶお店に、「富山コシヒカリ」の生産者のみなさんが来られました。2日間にわたり、組合員さんと交流したり店頭で餅つきを開催。雨にもかかわらず多くの方にご来店いただきありがとうございました。



雨のためレストコーナーやロビーで 生産者さんと委員さんの交流会も

今年もおいしい新米をありがとう



JAいなばさん「富山コシヒカリ」販売交流会とお餅つき
10月28日・29日

ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の販売会の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
12月3日(日)10:00～15:00	東都島店
1月7日(日)10:00～15:00	忍ヶ丘店

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎守口市民まつり(11月5日) 売上げ71,030円と募金210円

ずっとボラの会主催

「東北の現状と課題 ～私たちにできること～」

東日本大震災の発災から7回目の冬をむかえます。被災地の復興はまだ途上ですが、復興の現状やこれからの課題について、6年間、現地岩手に常駐されていたパルコープの林さんに報告いただき、改めて震災を考える機会にできればと、企画しました。ずっとボラの会は、2013年7月から毎月大阪で震災支援グッズ販売会を100回開催し、今後も販売会を継続する予定です。大阪でできる支援を一緒にしてみませんか?

日時 12月9日(土) 14:00～16:00
会場 パルコープ京橋事務所(本部) 3階 *JR・京阪・地下鉄「京橋駅」下車
講師 林 輝泰さん(岩手県遠野市に常駐するパルコープボランティア事務局)

参加費 無料

申込方法
【共同購入・配組の組合員さんは】
12月1日のOCR注文書 アンケート欄1401に参加人数を記入
【店舗などの組合員さんは】
組合員サービスセンターにお電話ください
☎ 0120-299-070 (締め切り) 12月1日(金)
(月曜、土曜 9:00～17:00 火～金曜 9:00～18:00)

(お問い合わせ) 上記の組合員サービスセンターへ
ホームページの専用フォームからも申し込みます
http://welcome.palcoop.or.jp/event/
カメラ機能のある携帯電話はこれを読み取るとホームページにつながります!